

## 教授会議事録

日時：平成 18 年 4 月 11 日（火）14 時 03 分から 16 時 55 分

場所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 24 名、助教授 15 名

議事に先立ち、新任構成員及び、4 月 1 日付け採用の助手から自己紹介があったほか、事務部長から 4 月 1 日付けの人事異動に伴う研究協力係長及び研究協力係主任の紹介があった。

## 議事録の確認

平成 18 年 3 月 7 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

## I. 報告事項

## 1. 学内外諸会議等報告

## (1) 教育研究評議会

所長から、3 月 14 日に開催の教育研究評議会について、下記の報告があった。

- ① 「教育研究評議会が推薦する総長候補者の選考方法に関する申し合わせ」の規程改正に関する提案について
- ② 科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会から提言された平成 19 年度特別教育研究経費の動向について
- ③ 外部資金により雇用する教員の雇用年齢に関する取扱いについて
- ④ サバティカル制度を実施するためのガイドラインについて
- ⑤ 東北大学のポスト 21 世紀 COE プログラム構想について
- ⑥ 医工学研究科（仮称）の理念について
- ⑦ 産学官連携・研究推進、基礎・基盤研究推進のための平成 18 年度からの新体制について
- ⑧ 学内共同教育研究施設等の分類について

## (2) 部局長連絡会議

所長から、3 月 20 日に開催された部局長連絡会議について、下記の報告があった。

- ① 平成 18 年度の運営体制について
- ② 職員の全学電子認証システムの構築について
- ③ 日本学術振興会特別研究員の採択状況について
- ④ 総長特別賞について

## (3) 財務戦略会議・人事戦略会議

所長から、3 月 15 日に開催された財務戦略会議・人事戦略会議について、下記の報告があった。

- ① 総長裁量経費の 10%部分の傾斜配分について
- ② 平成 17 年度剰余金について

## (4) 利益相反マネジメント委員会

所長から、3 月 20 日に開催された利益相反マネジメント委員会において、平成 17 年度利益相反定期自己申告を実施した結果、潜在的利益相反にあるもの及びヒアリング等の必要なもののみ個人的に文書により通知し、それ以外のものについては特段問題がない旨の説明を受けたことの報告があった。

## (5) 研究推進審議会

3 月 22 日に開催された研究推進審議会について、配付資料に基づき、下記の報告があった。

- ① 平成 18 年度の新体制（産学官連携推進本部、米国代表事務所等）について
- ② 研究不正（論文等・研究経費）への対応について

## (6) 高等研究基盤技術センター設置構想委員会

3月29日に開催された高等研究基盤技術センター設置構想委員会について、平成17年度まで特別教育研究経費の概算要求及び東北大学における設備整備に関するマスタープラン等を検討してきたが、平成18年4月に学術基盤施設群 研究教育基盤技術センターとして設置されることから、設置構想委員会は業務が終了し、今後はセンターの運営専門委員会に引き継がれることとなる旨の報告があった。

## (7) 知的財産業務監査委員会

3月24日に開催された知的財産業務監査委員会について、下記の報告があった。

- ① 平成17年度の収支について
- ② 産学連携経費（共同研究の収入の10%）の収入について
- ③ 平成18年度の研究推進知的財産本部整備事業費の文部科学省からの補助がなくなるので、産学連携経費を充てたいこと。
- ④ 平成18年度からの新体制について

## (8) 史料館運営委員会

組織改編に伴い史料館が平成18年4月から教育基盤施設群 学術資源研究公開センター 史料館に移行することから、規程改正の検討を行ったこと及び、今後は史料館運営委員会の業務を学術資源研究公開センターの運営専門委員会が引き継ぐこととなる旨の報告があった。

## 2. 運営会議等報告

## (1) 評価委員会

配付資料に基づき、第4回分野別外部評価用資料について説明があり、評価項目等については前回の外部評価時を踏襲しているが、今回は前回に加えて「研究費の情報」及び「学位の授与状況」を記載するようにしたいとの提案があり、承認した。

なお、評価用資料フォーマットを修正後に送付すること及び、締切りは5月26日（金）とするので厳守願いたい旨の依頼があった。

このことに関連し、議長から、外部評価委員会の委員長について、報告があった。

## (2) 研究企画戦略室

4月6日に開催した研究企画戦略室会議について、配付資料に基づき説明があり、今後の競争的資金の獲得にあたっては、総合科学技術会議が策定した第3期科学技術基本計画の重要な研究開発課題の概要及び目標に留意しながら進めていただきたいとの発言があった。

## (3) 安全衛生委員会

3月23日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ① 学生が通常の実験以外の危険な作業を行う場合は、研究室のスタッフの指導のもと行ってほしいこと。
- ② 改正労働安全衛生法が平成18年4月1日から施行され、長時間労働者の申し出を受けて、医師の面接指導が義務付けられたこと。  
このことに関連して、労働災害の認定を受ける際には、勤務時間を把握しておくことが重要であるため、メモ等を取っておいてほしい旨の発言があった。
- ③ 平成17年12月に実施した作業環境測定の結果、次のことについて指摘を受けたので注意してほしいこと。また、平成18年度からは作業環境測定の日程調整は、環境保全センターが行うこと。
  - ・ ドラフトの下で作業していないこと。
  - ・ ドラフトが能力不足であること。なお、能力不足のドラフトについては、衛生管理者が点検し、改善する予定であるので協力願いたいこと。

## (4) 総務委員会

総務委員会について、下記の報告があった。

- ① 記念資料室の改修工事について
- ② 研究活動報告資料編をHPに掲載することについて、通研のアクティビティを示すためにHP上

に掲載した方が良いとの意見を受けて、PDF ファイルで掲載したこと。関連して、受賞情報についても HP に載せるので、受賞した場合は、庶務係に報告願いたいこと。

- ③ 例年作成している通研要覧及び研究活動報告書を、今年度も作成すること。通研要覧の原稿締切りは 4 月 24 日（月）、活動報告書の原稿締切りは 5 月 15 日（月）として、原稿作成について依頼したので協力願いたいこと。

(5) 建物環境委員会及び安全衛生管理室

緊急用シャワー設置工事について発言があった。

(6) 移転対応プロジェクト委員会

移転対応プロジェクト委員会について、下記の報告があった。

- ① 月に 2 回以上のペースで委員会を開催していること及び、4 月 3 日（月）～5 日（水）に全委員、事務部並びに施設部関係者が参加し、先行例の施設見学を行ったこと。施設見学にあたっては、特に、京都大学桂キャンパスが参考になったこと。
- ② 通研の移転床面積について
- ③ 施設部とランドスケープ・アーキテクトとして起用したササキアソシエーツとの考え方が違うため、若干混乱していること。
- ④ 施設部から、地下鉄東西線の騒音・振動の発生に伴う影響についての調査依頼があり、回答期限が 4 月 14 日（金）となっており、通研の回答期限を 4 月 13 日（木）必着として調査をするので協力願いたいこと。

(7) 学部教務委員会

4 月 4 日開催の系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。特に、前期の電気・情報系学生実験 B の担当者全員が通研の助手であるのはなぜかとの質問があり、学生実験は A、B、C、及びプログラミング演習 A、B があるため、そのうち学生実験 B を通研助手が担当するもので、全体的な負担割合は青葉山 2：通研 1 であることの説明があった。

このことに関連し、情報科学研究科の協力講座に属している教員に、教務事項の情報が伝わらないことや、電気・情報系全体の教務事項を審議する場がないので、何らかの方法を考えるべきではないかとの発言があり、情報科学研究科所属教員と系内大学院教務委員会委員が相談することとした。

### 3. その他

(1) 平成 19 年度概算要求事項について

議長から、配付資料に基づき、平成 19 年度概算要求事項として、継続事業の 2 件を特別教育研究経費として要求したこと。また、施設整備関連としては、移転問題に絡み要求する必要がないとの指導を受けたこと。

なお、議長から、配付資料のうち、科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会から提言のあった「国立大学法人及び大学共同利用機関法人における学術研究活動に対する当面の推進方策について」は、今後概算要求等をする際の参考にしてほしいとの付言があった。

(2) 平成 17 年度共通施設等決算報告について

下記の施設責任者等から、平成 17 年度決算報告について、配付資料に基づき報告があった。

- ① ナノ・スピンの実験施設
- ② 評価・分析センター
- ③ 附属工場
- ④ ヘリウムサブセンター
- ⑤ 硝子工場
- ⑥ やわらかい情報システム研究センター
- ⑦ 図書室
- ⑧ IT21 センター

(3) 奨学寄附金及び受託研究の受入れについて

経理課長から、配付資料に基づき、奨学寄附金及び受託研究の平成 17 年度第 4 四半期並びに平成 17 年度年間分の受入状況について報告があった。

(4) リーダーシップ支援経費及び通研間接経費について

経理課長から、配付資料に基づき、平成 17 年度リーダーシップ支援経費及び平成 17 年度通研間接経費の使途について、報告があった。

(5) 電気通信研究所研究教育助成金について

経理課長から、配付資料に基づき、平成 17 年度電気通信研究所研究教育助成金の経理について、報告があった。

(6) トピックス掲載の手順について

配付資料に基づき、今後の東北大学 HP 及び通研 HP へのトピックスの掲載手順について説明があった。

(7) 学生の受賞について

議長から、配付資料に基づき、学生の受賞について報告があった。

(8) 受託研究員の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、受託研究員の受入れについて報告があった。

(9) 受託研修員の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、受託研修員の受入れについて報告があった。

(10) 研究所等研究生の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、研究所等研究生の受入れについて報告があった。

(11) 通研国際シンポジウムについて

通研国際シンポジウムについて、配付資料に基づき報告があった。

## II. 協議事項

### 1. 助教授人事について

選考委員会委員長から、ブロードバンド工学研究部門超ブロードバンド信号処理研究分野助教授候補者について、配付資料に基づき詳細な説明の後提案があり、投票を行った結果承認した。

### 2. 教員の兼務について

議長から、工学部長より兼務依頼があったことについて説明があり、承認した。

### 3. 研究室紹介に関する方策について

3 年生に対する研究室紹介に関する方策について、配付資料により説明があり、種々検討した結果、下記の意見があり、現状では電気・情報系の研究室紹介の動向がつかめないため、今後の研究室紹介の全体の方向を見極めながら、系内学部教務委員と総務委員会が相談しながら進めることとした。

① 授業担当教員は、授業等を通じて、積極的に通研及び教員個人の魅力を伝えるようにする。

② 研究室紹介については、教員、学生ともに多くの時間を費やしているため、教務委員会において、単位化することを検討してほしいこと。

## III. その他

### 1. 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会委員の施設訪問について

議長から、配付資料に基づき、附置研究所等のあり方やその機能について、システムの検証・改善を目的として、科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会委員の施設訪問が平成 18・19 年度の 2 年間に予定されていることの報告があった。

### 2. ラボノートの導入について

総務課長から、配付資料に基づき、ラボノートの導入について説明があった。引き続き、議長から、

研究記録の管理のためには非常に重要であるので、通研における運用方針について、研究企画戦略室で検討願いたい旨の発言があった。

また、日本におけるラボノートの運用方法の良い例があれば、教えていただきたいとの依頼があった。

### 3. 労使協定について

総務課長から、平成 18 年 4 月 1 日付けで下記の労使協定を締結した旨の報告があった。

- ① 時間外労働・休日労働に関する協定（36 協定）
- ② 専門業務型裁量労働制に関する協定
- ③ 時間雇用職員への年次有給休暇以外の休暇の試行に関する協定
- ④ 計画的年次有給休暇付与に関する協定
- ⑤ 再雇用制度の対象者に係る基準に関する協定

### 4. 会計実地検査について

経理課長から、会計検査院による平成 17 年度決算会計実地検査が、5 月 15 日（月）～19 日（金）に実施されること及び、総括副長が、5 月 15 日（月）14:30～16:30 に通研を視察するとの報告があり、協力について依頼があった。

### 5. その他

- (1) 学生の事故について
- (2) 教授会懇談会について
- (3) 次回の開催について

平成 18 年 5 月 9 日（火）14:00 から開催することとした。